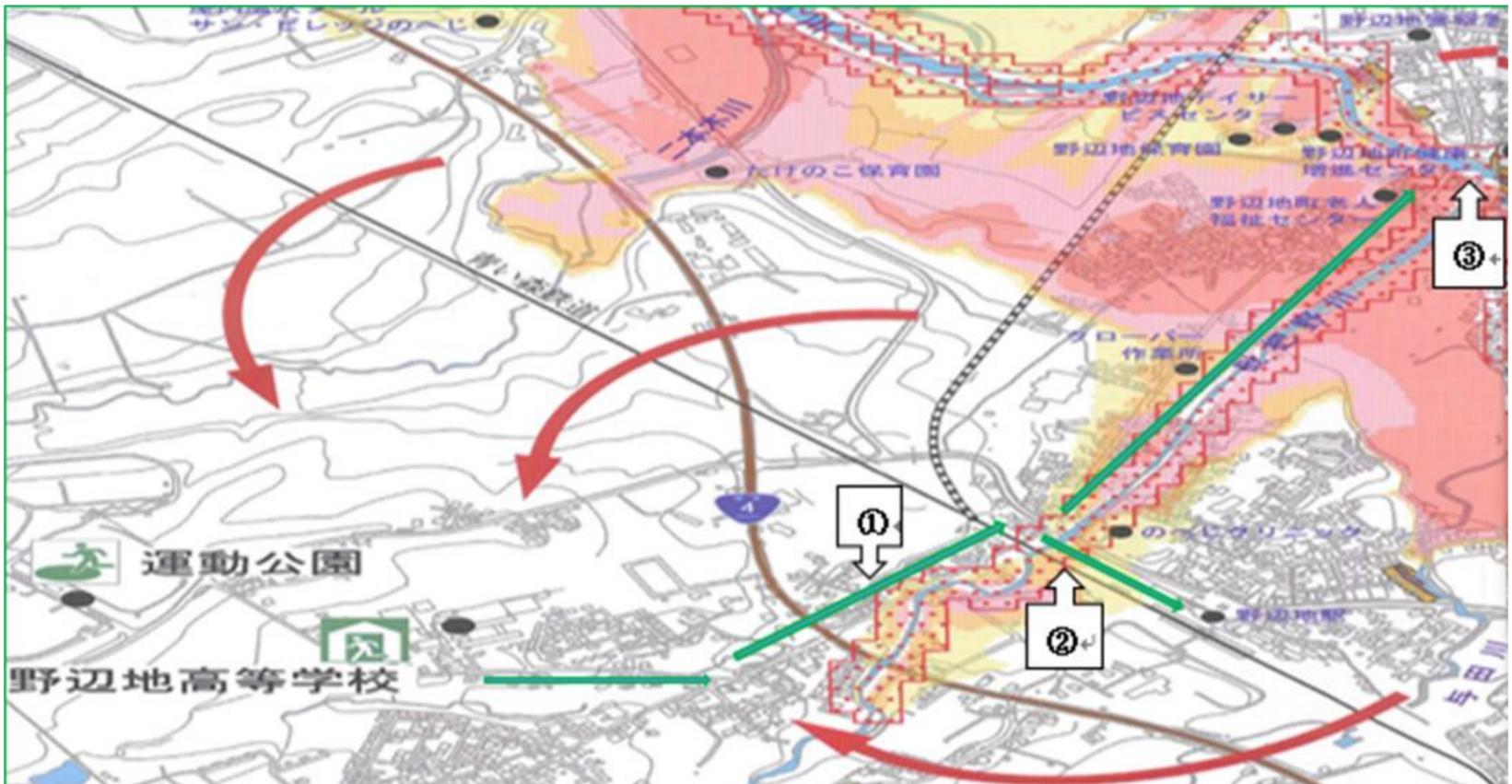


「命を守るために必要な知識と行動」

令和3年8月25日に全校生徒を対象として防災教室を行いました。その時に生徒に指導した内容を保護者の皆様にも共有していただきたいと思ひます。本校生徒の通学路には、地図中①～③のように大雨による河川増水による浸水危険箇所があります。令和4年度夏休み中の8月9日～10日にかけて大雨が降った時にも増水した様子が見られました。通学途中などを含めて河川氾濫や浸水が発生した場合を想定し、危険を回避するための備えをしておく必要があります。まず、学校から野辺地駅までの通学路周辺に枇杷野川が流れています。普段は水量も少なく小さな川なのですが、川幅が狭いため増水時は通学路に浸水する可能性があります。特にローソンと踏切の間地点（地図中、写真①）では、平成19年に増水によって道路が崩落する被害が出たこともありました。現在は修復された場所を生徒は通学しています。また、踏切を越えて交差点を右折した枇杷野橋付近（地図中、写真②）も過去に橋の下が崩落する被害が出て、現在の橋に修復されたことがありました。さらに、町立体育館前から野辺地警察署方面へ向かう通学路には、大きな野辺地川を渡る城内橋付近に野辺地川と枇杷野川の合流地点（地図中、写真③）があります。野辺地川が増水すると枇杷野川の水が流れ込みにくくなり、枇杷野川の上流が増水していくこととなるようです。全校生徒には、万が一、通学時に危険な状況が見られた場合の行動を確認しました。学校（避難所）や駅など安全な場所で待機する。できるだけ一人で行動しない。国道4号線交差点（ローソン）より駅方面の低い場所に行かない。危険箇所を避けて迂回する（地図④）。普段からハザードマップ（自分の住む町や野辺地町など）を見ておく。地図アプリなどの使い方や家族との連絡方法などを確認しておく。これらを保護者の皆様も共通理解していただき、今後起こりうる自然災害に備え、命を守るための備えをしましょう。

学校までの通学路（平常時） ※野辺地町防災マップより抜粋



① 国道4号線交差点（ローソン）から踏切までの間



枇杷野川（令和4年8月10日の増水時）



② 踏切から駅までの間 枇杷野橋



枇杷野橋 (令和4年8月10日の増水時)



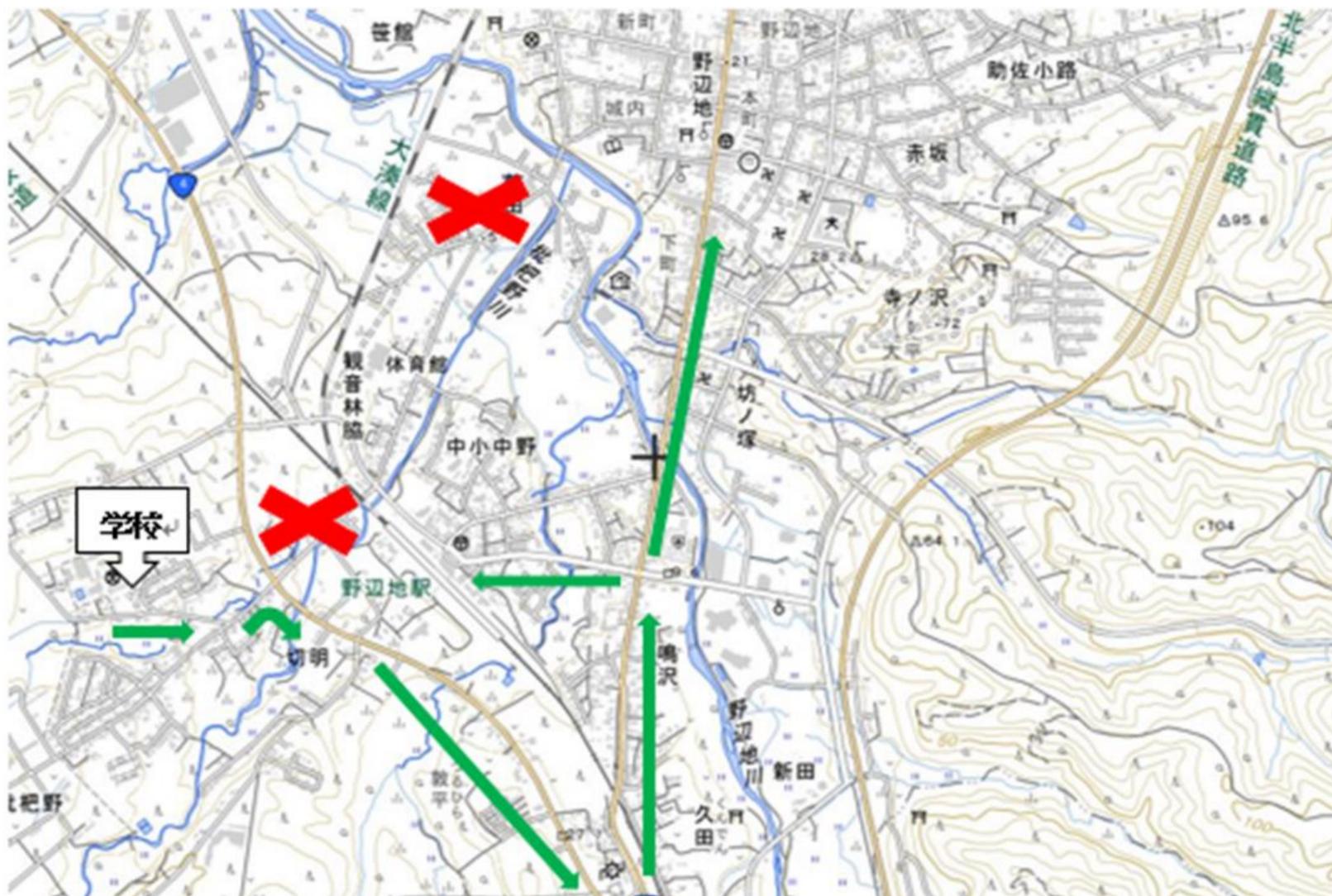
③ 町立体育館から警察署までの間 城内橋



野辺地川と枇杷野川の合流地点 (令和4年8月10日の増水時)



④ 通学路が浸水した（通行できない）場合の迂回路



<駅や町内方面に行く迂回路>

まず、学校を出て、国道4号線交差点（ローソン）を右折し、十和田方面へ進みます。

次に、国道の交差点を左折し、町内方面に向かう国道279号線を進み、鉄道の跨線橋を渡ります。

その先の野辺地病院手前の交差点を左折すると野辺地駅へ、交差点を直進すると町内へ行くことができます。

<馬門方面に行く場合>

まず、学校を出て、国道4号線交差点（ローソン）を左折し、青森方面へ進みます。

そのまま国道4号線を進むと馬門方面に行くことができます。

ただし、マックスバリューや旧フェリー埠頭方面は浸水する危険性があるので注意が必要です。